

<p>学校名</p> 	<h2 style="text-align: center;">北広島市立西部中学校</h2>		
<p>所在地</p>	<p>北広島市輪厚中央1丁目12番地1</p>		<p><b>校章の由来</b></p> <p>全体は雪国北海道を象徴し、西部中学校の「西」で形どっており、中央は中学校の「中」で金色、円をもって囲んでいるが、円は協力と円満を表している。全体として、純白な雪の如き心で仲良く協力し、平和と民主的な人格を理念として進む道を示している。</p>
<p>電話</p>	<p>376-2252</p>		
<p>開校年月日</p>	<p>昭和22年5月1日</p>		
<p>校長名</p>	<p>松 橋 辰 吾</p>		
<p>教頭名</p>	<p>川 村 香 織</p>		<p><b>研究主題</b></p> <p>&lt;小中一貫共通研究主題&gt;  <b>互いの考えを認め合い、高め合う児童生徒の育成</b>      ～対話・協働学習の工夫を通して～</p>
<p>職員数</p>	<p>教 諭 14名          養護教諭 1名          事務職員 1名          業務主事・事務補助員 2名          特別支援教育支援員 1名          心の教室相談員 1名          スクールカウンセラー 1名</p>		<p><b>特色ある教育活動</b></p> <p>①キャリア教育・ユネスコスクールとしての実践          &lt;地域の団体の力を借りた職場体験学習&gt;          自己設定したテーマに基づき職業について調べ学習を行い、地域事業所等で職場体験を実施。3年生は西部地区生涯学習振興会の主催でソクラテスマーケティングを実施。10数名の職業人の話を聞いて将来に向けて具体的に今何をすべきか考えるきっかけとしている。          &lt;カボチャ農園作業を通したESD環境教育実践&gt;          カボチャを種から育て、栽培、収穫から地域への寄贈や社会貢献という持続可能な循環型社会を目指す環境教育を実施。          &lt;人権・福祉・環境・平和・国際理解教育の実践&gt;          SDGsを意識した取組として、人権教室や命の大切さについての学習・福祉体験や福祉学習の充実・ESD・平和や国際理解教育(道内大学留學生との交流や市内ALTを活用しての授業)に力を入れている。          ②コミュニティ・スクール(CS)の推進          文科省、北広島市の指定を受け、コミュニティ・スクール事業を推進。小中9年間の発達や学びを支える教育の充実を目指し、小学校、地域の関係機関等と連携しながら「地域とともにある学校づくり」を進めている。地域の人材活用、地域貢献、CSを利用した学力向上や生活改善策、情報発信活動に力を入れている。          ③小中一貫教育の取り組み          ・9年間を見通した指導計画及び小中乗り入れ授業(確かな学力)          ・中学校区での西部スタンダードの実践(豊かな心)          ・家庭地域と連携を図った生活習慣の確立(体力向上)          ・CSとの連携による小中合同の交流活動(開かれた学校)          *特にCS防災訓練やCS災害図上訓練などは小中合同で行っている。</p>
<p>学級数</p>	<p>普通 5学級          特別支援 3学級</p>		
<p>生徒数</p>	<p>112名</p>		
<p>学校の教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら考える生徒 (創造)</li> <li>○ 思いやる生徒 (誠実)</li> <li>○ 行動する生徒 (自主)</li> <li>○ きたえる生徒 (健康)</li> </ul>		
<p>学校経営の基本方針</p>	<p><b>【重点教育目標】</b>  <b>「主体的に学び、未来を切り拓く、資質・能力」の育成・定着</b></p> <p>①主体的な学び ②自己有用感の高揚          ③目標設定と行動力 ④学力・体力向上</p> <p>1, 主体的な学びの実現          VUCA時代にあつて、学校教育では、子ども達に未来を生き抜くために、様々な変化に積極的に向き合い(自立・主体性)、他者と協働して課題を解決していくこと(協働)や、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと(創造)、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる生きる力の育成が求められている。したがって、課題を選択したり、自主的、自発的な学習を推進するとともに、情報活用能力の育成を図る中で、自他ともに向上するための、手段や方法を身につけさせて定着させ、多くの人たちと関わり、主体的に学ぶ習慣の習得に力を入れていく必要がある。</p> <p>2, 未来を切り拓く資質・能力の育成・定着          よりよい社会と幸福な人生の創り手となるために、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を具現化する資質・能力を一層確実に育成していくことが求められている。この資質・能力を育成するにあたって、学校教育目標と資質・技能の3つの柱である「知識・理解の習得」、「思考力・判断力・表現力等の育成」、「学びに向かう力・人間性の涵養」との関連から、育成したい資質・能力をより細かく位置付けるとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業改革を通して、資質・能力の育成と定着を図る。</p> <p>&lt;基本方針&gt;          (1)未来社会を見通し、確実に「資質・能力」を育む教育課程の編成・実施、評価・改善          (2)働き方改革をすすめ、信頼され、魅力ある学校づくりの推進          (3)豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進          (4)共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進          (5)時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進          (5)豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進          (6)家庭・地域・小学校と連携し、地域と共に子どもを育む教育の推進</p>		
			<p><b>沿革史</b></p> <p>昭和21年 新学制公布により広島村西部中学校設立          昭和22年 西部中学校大曲分校を開校(1学級認可)          昭和27年 独立校舎に移転、校章を制定          昭和28年 屋内体育館落成(104坪)          昭和42年 開校20周年記念、防音校舎落成記念式挙行          昭和45年 学校祭に地域文化祭及びバザー開催          昭和49年 講堂落成(体育館)          昭和59年 ゴルフクラブ設置          昭和60年 学校農園で広島特産カボチャづくり開始          平成13年 増築校舎完成(普通教室4、特別教室4)          平成16年 校舎大規模改造完成          平成17年 PTAの協力によりグラウンド拡張整備完了          平成19年 開校60周年記念事業(記念集会及び植樹)          平成21年 特別支援学級「楓」開設          平成22年 合唱部 北広島市青少年文化奨励賞受賞          平成24年 ユネスコ・スクールに認定          平成25年 新体育館竣工(3.8)          西部コミュニティ・スクール運営委員会設立(5.16)          石教研・広教研学校課題研究発表会          平成26年 石狩管内教育実践奨励表彰受賞(2.16)          石狩管内中体連女子ソフトボール大会第3位          NHK学校音楽コンクール札幌地区銀賞          平成27年 ユネスコランゲージ市(エルフィンバーク)ボランティア参加          全日本合唱コンクール北海道支部大会銀賞          平成28年 北海道中学校女子ソフトボール大会第3位          全日本合唱コンクール北海道支部大会銅賞          平成29年 NHK学校音楽コンクール札幌地区銀賞          全日本合唱コンクール北海道支部大会銀賞          開校70周年記念事業(記念体育祭・文化祭及びドローン空撮)          令和元年 NHK学校音楽コンクール道央地区大会銀賞          令和3年 北海道社会貢献賞(防災功労賞)西部CS運営委員会</p>

注1. 教諭数には校長・教頭を含む